

(3) 検証授業の考察 (ペア学習の有効性に関する考察結果)

ア ペア設定の方法

コンピュータの操作が、得意な生徒と不得意な生徒を分ける基準として、取得検定を基準としました。その結果、2級と3級のペア、2級と無級、3級同士のペアとなりました。

イ アンケート結果 (3回の平均・最終日に別項目で回答分)

ウ アンケート結果から見えるもの

図1は、Q1「従来の一斉授業に比べるとどのように思ったか」の質問に対して、「分かりやすかった」と答えた生徒が82%という結果となりました。3件法による結果であり、生徒の主観では、分かりやすいと感じたようです。

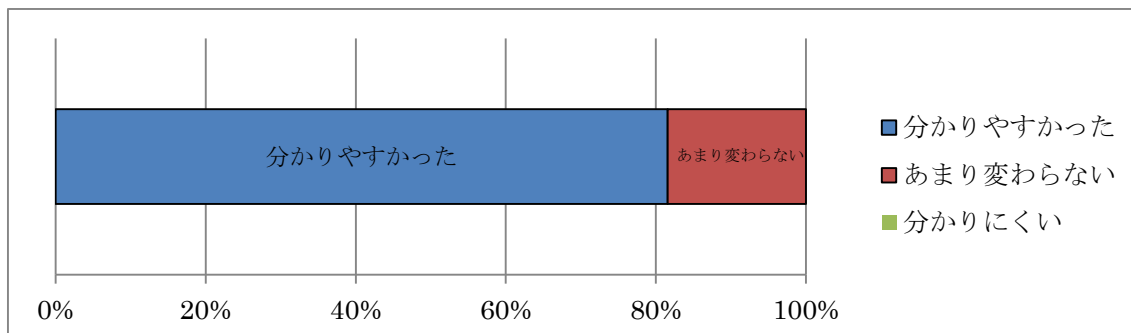


図1 「従来の一斉授業に比べるとどのように思ったか」に対する結果

図2は、Q2「主に教える側であったか、それとも、教えられる側であったか」の質問に対して、「教える側」と答えた生徒が46%、「教えられる側」と答えた生徒が54%。意図的な設定したペア学習のため、教える側と教えられる側が半数ずつになるかと予想していましたが、教える側と教えられる側が、時に入れ替わり、教えた側であったが、学び合う中で、教えられた意識が強くなったと考えられます。

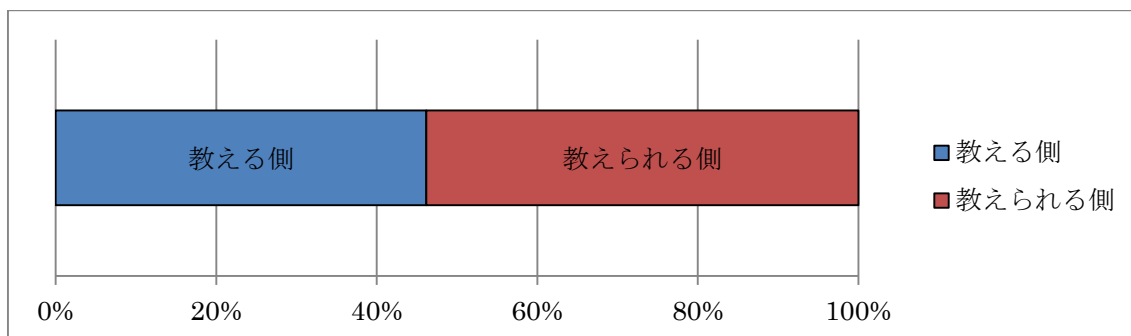


図2 「主に教える側であったか、それとも、教えられる側であったか」に対する結果

図 3 は、Q3①「教えた相手は、自分の教えたことを理解してくれたと思うか」との質問に対して、「そう思う」と答えた生徒が 46%、「だいたい思う」と答えた生徒が 54% でした。アンケートからは教えた側は、やり取りを通して自分の考えた内容が伝わったと感じています。

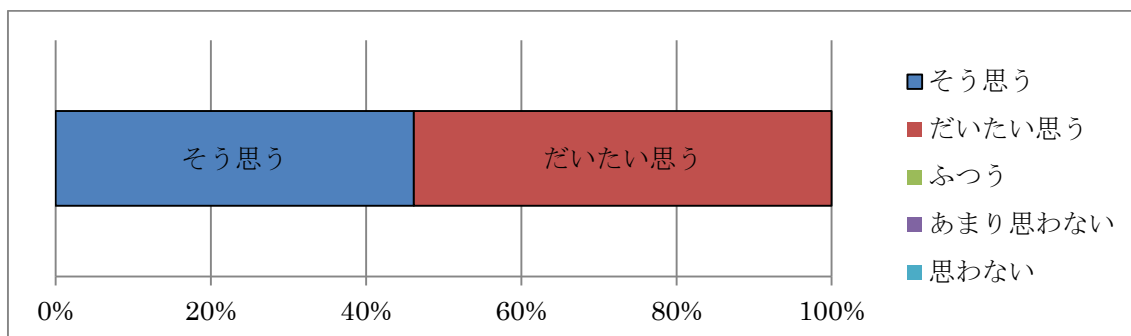


図 3 「教えた相手は、自分の教えたことを理解してくれたと思うか」に対する結果

図 4 は、Q3②「教えたことであなた自身の授業内容の理解が普段より深まったと思うか」の質問に対して、「そう思う」と答えた生徒が 50%、「だいたい思う」と答えた生徒が 50% でした。普段の実習よりも、学び合いにより教えた側もメリットがあったと感じています。

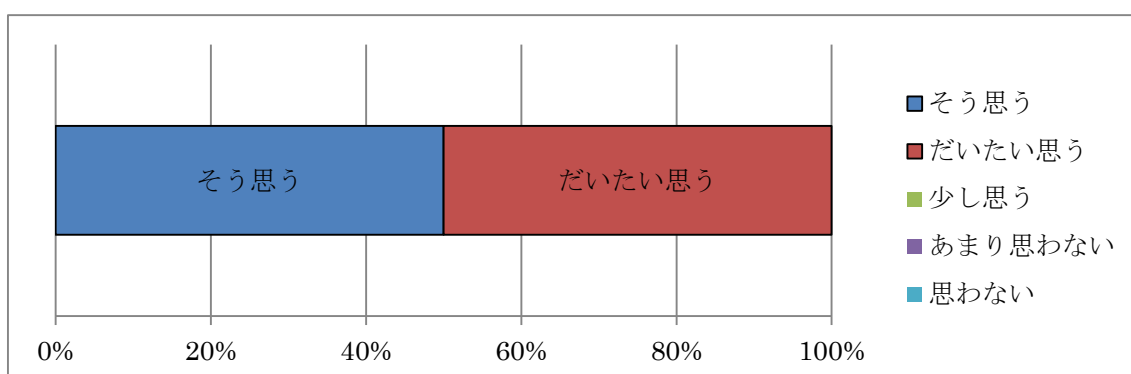


図 4 「教えたことであなた自身の授業内容の理解が普段より深まったと思うか」に対する結果

図 5 は、Q3③「教えた側に、今後も、このペア学習をしたほうが良いと思うか」の質問に対し、「そう思う」と答えた生徒が 53%、「だいたい思う」と答えた生徒が 41% という結果となりました。ペア学習の効果に対する期待感がうかがえます。

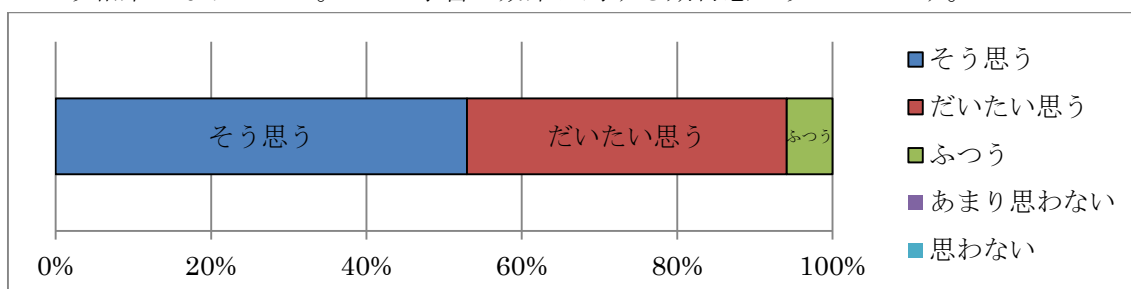


図 5 「教えた側に、今後も、このペア学習をしたほうが良いと思うか」に対する結果

図 6 は、Q4①「教えてくれた相手は、あなたの分からなかったことをうまく説明してくれたと思うか」という質問に対して、「そう思う」と答えた生徒が 47%、「だいたい思う」と答えた生徒が 29%でした。説明を受けた生徒は、説明された内容に対して満足感を感じています。

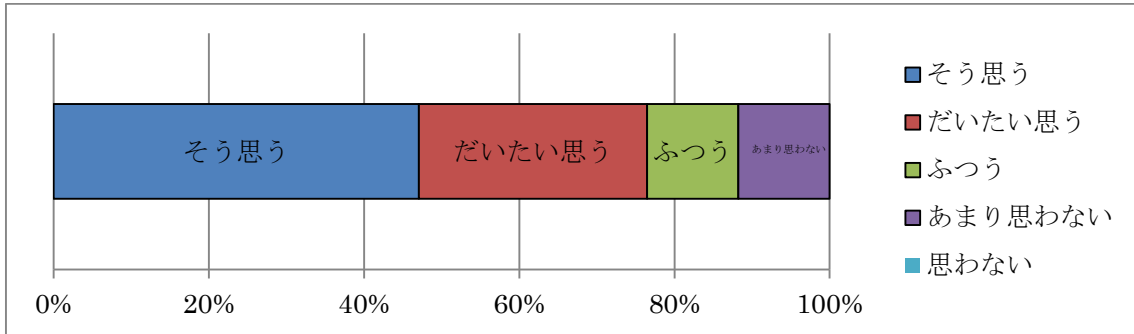


図 6 「教えてくれた相手は、あなたの分からなかったことをうまく説明してくれたと思うか」に対する結果

図 7 は、Q4②「普段の一斉授業に比べて、ペア学習の方が分かりやすいと思うか」との質問に対して、「そう思う」と答えた生徒が 71%。教えてもらう側には分かりやすかったようです。Q3①と比較しても、相互に意思の疎通ができ説明し理解させる、理解するということができたと感じています。

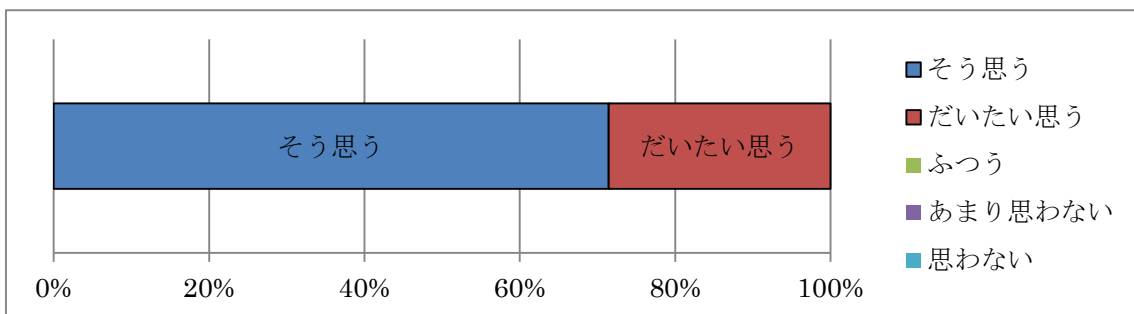


図 7 「普段の一斉授業に比べて、ペア学習の方が分かりやすいと思うか」に対する結果

図 8 は、Q4③「教わった側に、今後も、このペア学習をしたほうがよいと思うか」との質問に対して、「そう思う」と答えた生徒が 62%、「だいたい思う」と答えた生徒が 33%という結果となりました。このことから、ペア学習についての期待感の表れだと思えます。

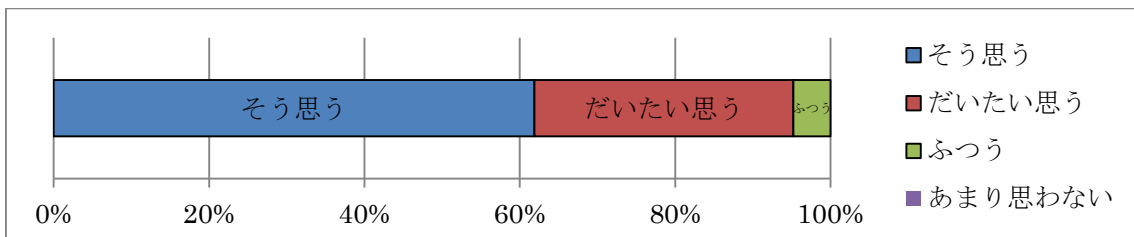


図 8 「教わった側に、今後も、このペア学習をしたほうがよいと思うか」に対する結果